

校長室だより

うんとこしょ  
どっこいしょ

第122号 令和6年3月21日

渋谷区立原宿外苑中学校長 駒崎 彰一

### 令和6年度の教育課程（教育計画）

次年度の教育活動の全計画について、「教育課程」として校長の責任で編成します。

2月末ごろまでには概ね編成を終えて、3月上旬には教育委員会に届出、教育委員会が内容を確認して管理するという仕組みになっています。

「より良い学校教育を通してより良い社会を創る」ことが学校教育に求められている現在、未来社会の予想される姿から逆算して、現在の学年・教科・単元等でのどのような指導を行うべきかという長期的な視点で編成することが重要であり、この編成した「教育課程」を学校と家庭や地域、協力団体や企業等とで認識の共有を図ることが重要であるといわれています。

そこで、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）において、編成した教育課程を共有し、さらに、令和4年度からは学校Webサイトにも公表して、内容を共有することで家庭や地域、企業等の協力を得ながら、令和6年度も教育活動をさらに充実していきたいと考えております。

本日、Webサイトに教育委員会に届出した「教育課程」を原文のまま公表しましたのでご確認ください。「学校案内—学校経営方針」のページです。

※ 教育課程の最後の2ページに年間行事予定表もありますのでご確認ください

→現在、日程調整中のもも若干あり・・・変更の可能性があります。

決定版は4月上旬に配信いたします！

### 次年度の本校の教育活動のポイント

○「シブヤ未来科」 渋谷区では新規(本校では継続)  
校長室だより第82号 <https://shibuya.schoolweb.ne.jp/weblog/files/1320122/doc/87726/564620.pdf> の通り、「シブヤ未来科」（総合的な学習の時間）として、「探究」の時間を文部科学省「授業時数特例校」の制度を利用して充実させていきます。

すでに本校では、「社会や他者（コミュニティ）との関わりを広げながら、個々の学びの深まりを目的とした教育活動」を令和4年度から実践してきているものを継続していきます。

報道にあります「午後がすべて探究」という形態ではなく、これまでの実践通り、授業時数をマネジメント（カリキュラム・マネジメント）しての実践としていきます。

令和5年度の実践 <https://shibuya.schoolweb.ne.jp/weblog/files/1320122/doc/93911/610678.pdf>

令和4年度の実践 <https://shibuya.schoolweb.ne.jp/weblog/files/1320122/doc/78231/484227.pdf>

○ Tokyo Global Gateway #2 継続  
「グローバル人材育成推進校」として、他校では1年生でのみ行っていた「Tokyo Global Gateway」（TGG）での学びを2年生でも「Tokyo Global Gateway #2」としてレベルアップして継続実施します。

（令和6年度よりTGGの1年生の区内全校実施が廃止になった関係で1年生での実施費用は保護者の負担でお願いします。2年生での実施費用は、これまで通り公費により支出になります。）

○ Teachers Learning Day & 原外カフェ 継続  
「学びの変革」のための教員による探究活動を促進するため概ね月1回「Teachers Learning Day」として午前授業で給食後下校の設定をします。これにあわせて、午後の空いた時間の補習活動や居場所づくり等の「原外カフェ」を継続していきます。

○「シブヤ部活動改革プロジェクト」モデル校 継続  
一般社団法人渋谷ユナイテッドとの連携により、既存部活動の「総合型地域クラブ」へ移行を目指すためのモデル校として取組を継続していきます。

☆ その他、今後も「校長室だより」にて随時、情報提供を続けていく予定です。

### 教育課程ではありませんが情報提供です！

飲み物の自動販売機を4月より本校玄関に導入します。生徒の水筒の補給・地域等来校者の利用および災害時利用を想定しています。生徒も購入可能です。（電子マネー利用可能としますのでSUICA・PASMOでも購入できます。）生徒の皆さんは、これまで通り「水筒」と同じように利用をしてください。